

東北部工業技術センター整備事業の進捗について

1 概要

令和8年7月の竣工を目指し、PFI手法(BT方式)で進めている東北部工業技術センター整備事業について、土壌調査を経て、予定通り令和7年1月に着工しましたので近況について報告させていただきます。



新施設完成イメージ図

2 これまでの経緯

時期	出来事
令和5年3月	事業契約を締結(清水建設(株)を代表企業とする企業体)
令和6年3月	基礎杭工事にかかる費用を補正(令和6年2月議会)
令和6年4月~12月	建設用地の土壌調査、実施設計
令和7年1月	着工

○事業契約額：4,241,160,000 円

○建設用地における土壌汚染の有無の調査(認定調査[※])を実施し、想定通り、当建設工事にかかる排出土壌は全て健全土として処分できることが確認できた。

※健全土として認定を受けるための調査のこと。土壌汚染対策法では、汚染土壌がある区域(形質変更時要届出区域)において、「汚染なし」と認定された土壌は健全土として安価に処分できる。

○スケジュールのとおり、令和7年1月に着工。

3 今後のスケジュール

R6年度			R7年度									R8年度											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
着工			工事												竣工			引越			供用開始~		

4 その他

以下の2点について、令和7年6月頃に増額が必要となる見込み。

- ① 物価変動に基づくサービス購入料の改定に係る増額
 →約370,000千円(R6.12の物価指数(速報値)で試算。確定値はR7.4発表予定)
- ② 空調冷媒の規制強化への対応費用にかかる増額
 →約30,000千円(令和7年4月に提出される見積書により確定)